

提出いただいた意見とこれに対する県の考え方

【山口県新広域道路交通ビジョン(素案)「1 地域の将来像」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	P1 関係施策対策の記述と認識しておりますが文章記述で内容把握がし難いと感じます。 年表表示あるいは箇条書き表記を追加した方が良いと感じます。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
2	P2 添付図の「県の関連計画」が「等」となっております。 図（通し番号設定御願ひ致します（別途意見あり））には余白多数見受けられます。「等」で済まらず極力関連計画明示の上、関連計画確認手段も明示必須と考えます。 当計画の推進対応の記載と認識しますが、 ・推進母体 ・計画推進の方法 ・計画推進状況の確認方法 ・状況確認・見直しの検討方法、検討間隔等々、ビジョン（素案）、推進の根幹となる内容の記載がありません。記述追加を御願ひ致します。 上記、根幹となる内容をビジョン（素案）に追加した上で再度意見募集すべきと考えます。 前述再度意見募集しないならばその理由を明示願ひます。（パブリックコメント/意見募集は「1回に限る」と言った規定は無いと記憶しております。）	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。 また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。
3	P3 市町別面積・人口を県地図に付箋、の形での表記となっておりますが、市町毎の数値の比較も困難であり、資料として不適切と感じます。 「地図表記（位置明示）+数値は表明示」と言う様な内容わかりやすい資料表記を御願ひ致します。 又、都市構造や中山間地域の記述ありますが、これらも地図上表記図（人口分布図等）掲載頂けましたなら幸いです。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
4	P5の上から3行目 「全国平均より15%高い」⇒「全国平均より15ポイント高い」 パーセントの増加や減少を表すときには「ポイント」を使うべき。	ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。
5	P5の上から6行目 「1 事業所当りの製造品出荷額等は全国1 位であり」となっているが、1 位かどうかは今の図では判断できない。1 位であることが分かる図に変更するか、今の図をそのまま使うなら、全国平均に対して何倍といった表現に変更すべき。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
6	P6の上から4行目 「新規農林漁業就業者数が増加傾向」と表現しているが、H29 からR1 はコロナ禍のためか減少している。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
7	P7の上から8行目 「自動車(レンタカー含む)が約69%と最も高く、次いで新幹線が約6%となっております」と表現しているが、それを示す図表がない。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。

8	P7 「本県を訪問する外国人の入国空港」のグラフ・数値表記がありますが、数値表記は見やすい様に記載数値・比率末尾をそろえて頂きます様宜しく御願ひ致します。	ご意見を踏まえ、グラフを修正しました。
9	P8 「本県においても、平成30年7月豪雨災害をはじめ、県内各地で大規模な災害が発生している。」との記述ありますが、直近発生災害一覧を明示頂けましたなら幸いです。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
10	P8の最下段 「1時間降水量50mm以上の年間発生日数」の図中の点線は何を意味するのか不明。	ご意見を踏まえ、グラフを修正しました。
11	P9 「【代表輸送機関分担率（出荷ベース）平成27年】」の表ありますが、単位（重量、容量、金額またはその他）の明示を御願ひ致します。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
12	P10の上から1行目 「外貨コンテナ定期航路は、下関港、徳山下松港、宇部港、三田尻中関港、岩国港の5港で就航している」と表現しているが、その下の図では小野田港も入っており、なぜ小野田港が該当しないかの説明が必要である。	図に示しているとおおり、小野田港には、外貨コンテナ定期航路がないので、記載は原案のままとします。
13	P10の上から3行目 「輸入品の搬出先及び輸出品の搬入元は、ともに中国地方内での流動が最も多くなっている」と表現しているが、図で見ると下関港の輸入品は近畿が最も多くなっている。	下関港の輸出入品の流動については、原案に記載しているとおおりです。
14	P11の下図 高速道路と主な一般国道の路線名を入れた方が分かりやすいのでは？	ご意見を踏まえ、図を修正しました。
15	P12の上から4行目 トップリフターの横に表示している「※」の説明がない。 最初に定義しておく必要がある。例えば、※用語解説(P32)参照	ご意見を踏まえ、目次に「※」印の説明を追加しました。
16	P12の下図 鉄道貨物取扱量の図で、岩国と広島県の大竹が重なって見にくく、山口県と区別するために、広島県は円の外周を点線表示にしたらどうか？また、その東側の広島については駅名の表示が抜けている。	ご意見を踏まえ、図を修正しました。
17	P12 「【鉄道貨物取扱量（平成29年度）】」の図示ありますが、「取扱量」の他に可能であれば・設備稼働率（これ以上どの程度の受け入れが可能かどうか）・取扱品移送実態（貨物駅からどこに運ばれるのか（市内市外県内県外））を明示すべきと考えます。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
18	P13の上から2行目 「利用者は年々増加している」と表現しているが、グラフを見るとR1は減少しており、「コロナ禍のR1を除いて」といった表示が必要である。	ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。

19	P13の上から5行目 「新幹線駅では新山口駅と徳山駅の乗降客数に増加傾向がみられる」と表現しているが、【新幹線駅の乗降客数の推移】でH30/H27を計算してみると(R1はコロナの影響が有るので)、新山口1.06、徳山1.07、新下関1.01、厚狭1.02に対して、新岩国1.10となっている。これが正しければ新岩国駅も加える必要があるが？あるいはグラフの数値が違っているかも？	ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。
20	P14の上から1行目 「自動車を利用する割合が他の交通手段及び全国の自家用車の分担率の割合よりも高い」は主語が省略されているので、「山口県の自動車分担率は、全国と同様に他の交通手段よりも高く、かつ全国よりも高い分担率となっている」の方が理解しやすいのでは？	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
21	P15 「やまぐち維新プラン」の説明であり、今回の意見募集で内容の変更は困難と認識しておりますが、「山口ゆめ花博※や東京オリンピック・パラリンピック等を通じた魅力発信などにより」と言う、県外企画にもたれかかった「大交流の実現」と言う計画に不安と不満しかありません。地方自治体として地方主体の施策実現を御願い致します。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
22	山口県の現状、物流・人流の特徴、県づくりの方向性をわかり易く簡潔にまとめられています。	いただいたご意見は、今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【山口県新広域道路交通ビジョン(素案)「2 広域的な交通の課題と取組」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
23	P17の図 カバー率を図示するだけでなく、カバー率として数値化した方が良いのでは？	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
24	P18の上図 【渋滞損失時間】において、渋滞損失時間の大小は分かるが、主要渋滞箇所として選定する際に基準とした値を示すことはできないか？即ち、渋滞損失時間がどの位だと問題になるかが判断できる基準は？	ご意見を踏まえ、用語解説を修正しました。
25	P25の上から9行目 「道路における移動時間の4割が渋滞により損失している現状」は何のデータに基づいているか？	ご意見の箇所の表記については、国土交通省資料によるものであり、記載は原案のままとします。
26	P25の図 国土交通省HPのETC2.0の図を引用しているが、下記説明を省略しており、図だけでは理解しにくいのでは？ ETC2.0は、これまでのETCと比して、 ・大量の情報の送受信が可能となる ・ICの出入り情報だけでなく、経路情報の把握が可能となる、など、格段と進化した機能を有しており、道路利用者はもちろん、道路政策に様々なメリット※をもたらす、ITS推進に大きく寄与するシステムです。 ※ETC2.0で期待されるサービス例 ・経路上の広域情報や画像の提供 ・特車許可における一括申請や自動更新 ・高速料金の経路割引や一時退出	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。 なお、「ETC2.0」については、用語解説に記載しています。

27	<p>P26の上から1行目 「楠こもれびの郷(宇部市)」が山口県に不案内な者にとって、道の駅なのか温浴施設なのか何の施設か分からないので、施設概要を追記すべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。</p>
28	<p>山口県の交通の現状と課題においては、高速道路ネットワークの充実・強化や広域交通拠点へのアクセス強化の必要性が理解できます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
29	<p>山口県においては、人口20万以下の都市が分散しており、移動交通の主要手段は自動車となっていることから、道路の整備が行き届かなければ、生活に支障をきたす可能性が高い。また、高齢化やコロナ禍において生活スタイルが変化してきている。例えば、中山間地域高齢者向けの移動販売に車を利用したり、モノを買うために外に出ることなく、インターネットで購入する機会が増えており、都市部だけでなく中山間地域においても車を使用した物流が増加するので、これを阻害することがない道路網の構築が必要である。</p> <p>さらに、近年多発する大規模災害に対しても、輸送路の寸断、集落の孤立や大幅な迂回に伴う多大な損失を少しでも減らすため、高規格道路を軸としてこれらに直結する広域道路やこれに連結する道路の整備が必要である。特に基幹道路においては、代替性を確保する道路の整備が急務であると考えている。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
30	<p>山口県の人流の特徴として、通勤通学をはじめとする日常移動のほとんどを自家用車に頼らざるを得ないことがあります。</p> <p>そのため車両保有率も高く、一家に一台どころか一人に一台があたりまえの状況となっています。当然家計に占める車関係費用の割合も高くなり、そのうちの多くはガソリン税や自動車税等の税金です。</p> <p>十数年前に、これらを活用した道路特定財源が、これらの税金をさほど払っていない多くの都会の人々の声により一般財源化されましたが、山陰道や下関北九州道路をはじめとして、山口県のドライバーにとって必要な道はまだありません。</p> <p>最近では特に無料の自動車専用道路の建設が進んでおり、一般の人にもとても利用しやすくなっています。</p> <p>私たちが払っている税金を、ぜひこれらの道路の建設に役立てていただき、できれば生きているうちにその恩恵にあずかりたいものだと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p> <p>また、道路整備を進めるための新たな財源の創設については、政府要望や知事会等を通じて、国に要望しているところです。</p>
31	<p>道路の災害、事故などにより地域が孤立する可能性のある島嶼部の長大橋など唯一のライフラインとなる道路についてはより一段高いレベルの点検体制にして欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、ICT・AIを活用した道路施設のメンテナンスの高度化に努めてまいります。</p>

《岩国地域》

32	<p>岩国市は山口県の東の玄関口であり、山陽新幹線・山陽本線などの鉄道、岩国港から結ぶ離島航路、首都圏を結ぶ岩国錦帯橋空港など、県内屈指の交通ネットワークを有しています。</p> <p>しかし、市街地の慢性的な渋滞や中山間地域と中心市街地を結ぶ公共交通インフラの整備が十分とはいえない状況にあるなど、恵まれた交通ネットワークを活かしきれていない状況にあるように思います。</p> <p>岩国・大竹道路をはじめとする整備中箇所を早期完成と岩国市のキャッチコピーである「ちかくにいわくに」を体現するような道路事業の推進を望みます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
----	---	---

《柳井地域》

33	<p>周防大島や上関(長島側)等の離島について、橋梁の事故や老朽化による通行止め等が発生すると孤立化する地域についての地震や老朽化対策等を今後より一層推進して行って頂けたらと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
34	<p>柳井地域を見ると、高速道路へのアクセスが他の地域と比べても悪い。そのため、物流も含めて他地域との交流がしにくい。山陽自動車道へのアクセスも考慮した道路整備を早期に行う必要があると感じる。</p> <p>また、上関、周防大島へのルートが一つであり、非常時を考えると別ルートの整備や橋梁のメンテナンスへの注力があるのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>

《周南地域》

35	<p>周南地域についてです。周南市の国道2号はいつも渋滞している印象である。</p> <p>自家用車での移動に際しても、渋滞があるので時間の計算ができないことがよくある。周南は工業地帯を抱えており、山口県の重要な地域である。国道2号や山陽道などのアクセス向上により経済効果を出していくことも必要なのではないかと考えます。これに対して、周南道路の事業の実現があれば、将来的にも有益なものになると考えています。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
36	<p>防災拠点の観点から、まず、ソレーネ周南はまだまだ活用の範囲を広げる可能性を秘めていると感じている。</p> <p>日常は農産物などの販売や大型トラックなどの休憩所として利用者が多いようである。</p> <p>その一方で、災害時にも活用できる施設であるのがよいのではないかと考えています。</p> <p>災害時に正確な情報を発信できる施設として、また、一時的な避難場所としてなど、活用する場面はあると思います。また、研修施設のような部屋があるが、位置的にはICからも近く駐車場も広いため利用しやすいと感じている。講習会、研修会などにもっと活用してもよいのではないかと思います。</p>	<p>道の駅「ソレーネ周南」については、計画の中で、大規模災害時等に広域活動拠点として活用が見込まれる道の駅として位置づけています。</p> <p>なお、いただいた意見を参考に、道の駅等の防災拠点の機能強化などに努めてまいります。</p>
37	<p>周南から防府に向けてはR2号の富海拡幅事業が進められています。トンネルより以西は2車線のままです。この区間も拡幅しないと効果を発揮しないのではないかと考えます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>

38	<p>周辺市町とのアクセスについてです。</p> <p>平成30年度の大雨でJR横の大きな斜面が崩れ、188号線は長い間交通規制された。また、JRも不通となっていた。この付近は道路自体は広く整備されているが、災害に対しては脆弱な箇所ではないかと感じています。光市と下松市周南市のアクセスはR188号がメインです。ここが止まってしまうと災害時の復旧にも大きな影響が出ます。別ルートを確保していくことが災害に強い道路整備になるのではないかと考えます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
----	---	---

《山口・防府地域》

39	<p>阿東町付近の9号線など、冬期に雪による通行止めが発生する地域において、災害時の孤立化の懸念や、島根(山陰側)から山口中心部へのアクセスを容易とするため、県の現在の広域道路計画を、より一層推進して行って頂けたらと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
40	<p>山口市内の国道9号の朝夕の渋滞がひどい。国道2号の防府市と山口市の市境付近は、2車線しかなく、渋滞もみられる。早く4車線に広げてほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
41	<p>国道2号の防府市と山口市の市境付近の2車線区間は必ず渋滞する。長沢湖付近です。前後が4車線になっているので、ここがボトルネックになってしまっている。前後の道路改良効果を発揮するためにも早急な4車線化が望ましいと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
42	<p>山口市内国道9号の朝夕の渋滞を解消する方法を検討してほしい。</p> <p>朝の8時～9時には、目的地までの時間が計算できないので困っている。</p> <p>通勤によるものと考えるが交通需要マネジメントにより、公共交通機関の見直し、時差出勤などにより、改善策を模索できないでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画の本文中の表現を修正しました。</p>
43	<p>港湾施設から高速道路などの高規格幹線道路に容易にアクセスできることは、物流の効率化に大きく影響することと思います。</p> <p>防府市の三田尻中関港から高速道路や国道2号線へのアクセスが良くないのではないのでしょうか？</p> <p>港からの大きなコンテナを積んだトレーラーが市街地を通過している状況にも不安を感じている。</p> <p>安全性の観点からも、トレーラーなどの大型車が港から幹線道路へ容易にアクセスできるようにすることは必要なのではないのでしょうか。</p> <p>ご検討いただければと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>

《宇部・小野田地域》

44	<p>新広域道路交通ビジョンについて この中で、「楠こもれびの郷」を拠点とした自動運転サービスの実証実験の例が記載されています。少子高齢化が進む中、中山間地などでは期待されている技術と思われる。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、自動運転等将来のモビリティへの備えなどに努めてまいります。</p>
----	---	---

45	宇部湾岸道路から空港までの間や、宇部湾岸道路から小野田湾岸道路の間など、すべて繋がることを期待する。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。
46	新広域道路交通計画について 宇部・山陽小野田地区は、宇部湾岸道路及び小野田湾岸道路ができ、大変便利となった。 しかしながら、道路ネットワークとしては、山口宇部線から空港、宇部湾岸線区間や宇部湾岸道路から小野田湾岸道路区間、小野田湾岸道路から小野田IC区間など、限られた財源ではあると思われるが早期の着工を期待する。	

《下関地域》

47	九州から山口県山陰側の観光地へのアクセスの改善をはかるため、山陰道の未着手区間、特に小月―豊田間を早期に着工して頂けたら嬉しく思います。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。
48	関門橋が通行止めになったとき、下関市内は大渋滞になる。また、関門トンネルも頻繁に通行止めとなることから、下関北九州道路の必要性は高いと思う。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。
49	北長門海岸国定公園に指定されている山口県の日本海側の地域は観光スポットでコロナ禍が終息すれば連休時などにおいて観光客による道路の大渋滞が復活すると思われまます。また、これらの地域における観光資源や物産は関係者の努力により、かなり質の高いものになっています。 しかし、九州方面などの大都市圏からの移動に要する時間などのためそれらの質の高い資源が十分に地域の発展に活用できておらず、高齢化・過疎化が著しく進行しつつあります。 このため、地域ではかなりの危機感を持って高齢化対策や定住化対策、6次産業、ブランド化などの取り組みを進められていますが、質の高い観光、物産を県外の大都市圏域との人や物の流れと関連付けた広域交流が必要不可欠と思ひます。 北浦地域においては県内主要拠点とネットワークしながらも、特に広域道路交通計画の骨格となる県外都市圏とのネットワークの強化がこの地域の生き残りのために強く望まれます。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。

《長門地域》

50	【湯本・俵山地域の事業推進について】 俵山地域は山陰道の建設が計画されています。 この地域は過去に災害時通行止めとなる事も多く、道路線形も悪い区間が続きます。 また、俵山温泉、湯本温泉など県内有数の温泉地も存在します。 ここへ観光客を集めれば地域の活性化にもつながります。 今後、新広域道路交通ビジョンの基本方針実現にむけた早期着工を引き続きお願いいたします。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。
----	---	---

51	<p>昨年、長門・俵山道路が開通し、便利にはなったが、やはり、高速道路はつながらないと効果が薄い。早く、中国道までつながってほしい。</p> <p>山陰地域にとって、山陰道はなくてはならない道路。高速道路がつながれば、より多くの観光客を呼び込むことができ、地域が活性化する。山陰道の整備を全力で進めてほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
52	<p>4月16日(金)には、県道美祢油谷線 砂利ヶ峠バイパス(L=2.0km)の開通が予定されていると聞きました。これで、交通の難所が一つ解消されます。</p> <p>このことにより、油谷～俵山地域まで安全で快適な交通網が確保されたと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>

《萩地域》

53	<p>田万川町出身ですが、以前から交通の便が悪く高校に行くのも萩ならば下宿しなければならず、益田に行く生徒がたくさんいました。また、現在仕事で県内を回ることがありますが萩・長門地域に行くには時間がかかります。</p> <p>このようなことから山陰道の整備を進めていただき、災害時への対応、より多くの観光客の呼び込み、地域の活性化につなげて欲しいと考えています。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
----	--	--

【山口県新広域道路交通ビジョン(素案)「3 広域的な道路交通の基本方針」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
54	<p>P1 「(1) 計画期間」「(2) 対象地域」の記述ありますが、県の行政計画(素案)として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進母体 ・計画進捗確認時期/確認間隔は明示必須と思われる。 <p>上記内容計画に明示願います。 上記内容明示した計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>
55	<p>ビジョンの広域道路ネットワークの基本方針の中で、山陰道や下関北九州道路が高規格道路であるとする記述がなされている。</p> <p>ビジョンは考え方や概念を記述するものと理解しており、こうした個別路線の位置づけについては、計画の中ですべきではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。</p> <p>なお、山陰道や下関北九州道路などの個別路線については、計画の中で、広域道路へ位置づけており、広域道路ネットワーク図及び路線一覧表で詳細を記載しています。</p>

56	<p>P27- 「広域的な道路交通の基本方針」として、道路関係行政方針を明示していると認識致します。</p> <p>大枠として齟齬無いと思いますが、「道路行政→道路整備→インフラ整備・新規建設・現設備補修」に限らない、「道路使用/道路負荷軽減」の施策≒自動車使用の軽減（鉄道使用（モーダルシフト）推進・公共交通使用推進・2輪車使用推進）」の施策、当素案にも記述がありますものの少ない/本気度が低いと感じます。</p> <p>当該施策実施を、この場では具体策提示出来ませんが御願ひ致します。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
57	<p>「広域的な道路交通の基本方針」は、施設整備・インフラ重視と感じます。</p> <p>前述 「道路使用/道路負荷軽減」の施策≒自動車使用の軽減（鉄道使用（モーダルシフト）推進・公共交通使用推進・2輪車使用推進）」は、広報活動も重要と考えます。</p> <p>特に「自動車使用」の多い企業（物品輸送の他通勤での使用等々）への、通知教育広報指導について当ビジョンに記述追加、あるいは具体的施策での対応が必要と考えます。</p>	
58	<p>P27の① 「中枢中核都市や地方生活圏中心都市間は、規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築して多重性・代替性を確保する」といった表現も必要なのでは？</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
59	<p>大規模災害の道路の代替性確保等について 大規模災害時の道路の代替性確保および安全に通行できる道路を周知することは非常に重要と考えます。</p> <p>平成30年7月豪雨では、いたるところで道路路面災害による通行止めが発生しました。</p> <p>通行止めになっていない道路でも、岩塊や流木が散らばっており、安全に通行できる道路ではないものもありました。</p> <p>このため、災害時の安全な道路を確保し、住民に周知することが重要と思います。今後、本案を住民がわかりやすい形で公表して頂くと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、ICT・ビッグデータを活用した多様な交通情報の収集と提供などに努めてまいります。</p>
60	<p>激甚化、頻発化する災害への対応、都市部の慢性的な渋滞の解消、ミッシングリンクを解消し高速道路ネットワークの充実・強化を図るなど、今後も山口県の道路整備は重要であると考えます。</p> <p>山口県新広域道路交通ビジョン（素案）を拝見させていただきましたが、4つの道づくりの方針を掲げるなど多角的な視点による取り組み姿勢が伺え、とても良いと思います。</p> <p>財政的な面もあると思いますが、中長期的な計画を確実に実施していただきたいと考えます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、選択と集中のもと、重点的・計画的に道路の整備・保全に努めてまいります。</p>

61	<p>近年山口県においても大規模災害が多発しており、道路の通行止めが続くことに伴い、日常生活や経済への影響が大きくなっている。代替性を確保する基幹道路網の構築が必要であるとともに、線形の悪い山間部の道路では線形改良を進めることにより、信頼できる道路網を確保していく必要があると考える。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
62	<p>「②災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築」について 「3-1 広域道路ネットワークの基本方針」として示されている3項目は、いずれも重要と考えます。 その中でも、気候変動に起因し災害が激甚化、頻発化する中、特に、「②災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築」を強力に進めていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
63	<p>「②災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築」の内、孤立集落発生の解消に資する市町村道の改良・防災対策の推進について 当計画は、主に広域的な道路ネットワーク（地域高規格道路、直轄国道等）を対象とすることから対象外になるかもしれませんが、市町村道の整備について意見を述べさせていただきます。 災害が激甚化、頻発化する中、大規模災害時には、人命にかかわる「孤立集落の発生」が大きく報道されます。その原因としては、高規格道路、国道、県道の通行不能だけでなく、末端の市町村道の通行不能によるものも多いと考えます。 それぞれの整備水準は、県道以上については、道半ばではありますが一定のレベルに達しており、市町村道については、未だ低レベルであると認識しております。 こうした中、信頼性の高い道路ネットワークを構築するためには、県道以上の改良・防災対策を進めるだけでなく、孤立集落発生の解消に資する市町村道の改良・防災対策も積極的に進めるべきではないかと考えます。 一方で、市町村の道路予算は、平成24年の笹子トンネル天井板落下事故以降、改良・防災予算を老朽化対策等維持予算へシフトせざるを得ず、改良・防災予算が大きく減少しており、孤立集落発生の解消に資する予算を十分確保できていない状況です。 については、孤立集落発生の解消に資する市町村道のうち一定の要件に合致するものについて、県が代行整備するなどの制度設計を検討しては如何かと考えます。 なお、孤立集落発生リスクの高い市町村道は、主に中山間地域に位置することから、「3-2 交通・防災拠点の基本方針」の「③中山間地域等における「小さな拠点」の形成」にも資するものと考えます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>

64	<p>○広域道路ネットワークの基本方針について 「③ 自動運転等将来のモビリティへの備え」は、今後の少子高齢化社会における労働人口不足を考えると、山口県にとっても避けて通れない課題と思います。 ただし、この「③項目」としては、どちらかといえばICTの活用に含まれるものとして考えても良いのではないかと思います。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
65	<p>P28の③ 「③自動運転等将来のモビリティへの備え」の内容が、「自動運転を活用した街づくり・地域づくりを目指す市町の計画的な取組を支援する」となっており、「3-1 広域道路ネットワークの基本方針」で述べるのは違和感がある。 「3-3 ICT 交通マネジメントの基本方針」に移行した方が良いのでは？</p>	
66	<p>P28の上から8行目 冒頭の「地域の主要な交通拠点に関する道路」は「小さな拠点」の形成を支援する道路を意味していると思われるが、この節は「3-2 交通・防災拠点の基本方針」であり、タイトルに対応させて、「各交通機関の連携強化や災害時の物資輸送や避難等の主要な防災拠点の機能強化、さらには「小さな拠点」の形成を支援する道路など」とした方が理解しやすいのでは？</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画の本文中の表現を修正しました。</p>
67	<p>山口県は、鉄道による移動よりも車両を使用した移動が主要な手段となっている。したがって、道路が貧弱であれば交通事故が多発したり、移動時間がかかるなど生活の利便性が悪くなる。 また山口県は、地形的に山陽と山陰が中国山地により分かれており、かつ都市が分散化していることに問題がある。 これより、県民全体の生活の質を向上させるために、物流を迅速かつ円滑にすることや、観光客が道に迷わず安心して県内各地を移動できる道路網を構築することが、今後地域産業を活性化していく一助となると考えるので、生活の基盤となる道路整備の取組みが今後とも推進することを切に望みます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
68	<p>南海トラフ地震など、将来発生するであろう大規模災害において、広域道路の整備は必修であろう。例えば、災害発生初期の段階において災害派遣のためのルート確保、その後のボランティアなどの人的資源・物資配送のルート確保は重要である。また、広域道路のネットワーク化についても、同様に重要と考えられる。 広域道路の整備を推進を奨励する。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
69	<p>大島大橋にタンカーが衝突した際に交通が妨げられ、多くの方が大変な思いをされたと思います。 また近年では集中豪雨等による災害も増えてきており、災害に備えた広域ネットワークの強化は素晴らしいことだと思います。 災害に強い町づくり、よろしく願います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>

70	<p>○交通・防災拠点の基本方針について</p> <p>「③ 中山間地域等における「小さな拠点」の形成」は、小さな集落が点在する中山間地域の維持といった面で、山口県にとっても非常に重要な課題と思います。</p> <p>内容的にもう少し地域防災の考え方(例えば、避難路、地域の防災施設、相互扶助のあり方等)を示されたほうがより良いと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、中山間地域等における「小さな拠点」の形成などに努めてまいります。</p>
71	<p>高齢者は中山間地域に多く居住されており、自身で運転ができない方も多い。このため、買い物などは他に依存せざるを得ないことから、モノの流通が容易に行えるような道路を確保していただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
72	<p>高齢者が安心して暮らせるように、緊急車両が迅速に通行でき、救急医療施設へできるだけ短い時間で搬送できる道路網が必要である。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築などに努めてまいります。</p>
73	<p>高齢化の進行が進む地域において、公共交通機関(バスや電車の本数)の減少も併せて進んでおり、県の現在の交通拠点の機能強化推進案を早期に進めていって頂けたらと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、交通拠点の機能強化などに努めてまいります。</p>
74	<p>「3-3 ICT交通マネジメントの基本方針」について</p> <p>人やモノの移動の安全性や効率性を向上させるため、最先端技術を積極的に導入していただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、ICT等の革新的な技術も積極的に活用した交通マネジメントの強化などに努めてまいります。</p>
75	<p>モビリティサービスの導入について</p> <p>山口県版MaaSの導入は、今後の観光客増加を考慮すると非常に重要になってくると考えます。</p> <p>山口県は魅力的な観光地が多いですが、観光バスや車以外では観光が困難と考えられていると思います。</p> <p>このため、山口県版MaaSを導入し、手軽に観光の検索や予約、支払い等を可能にし、色々な交通手段を提供することで(SLに乗って観光地まで行く等)、山口県の魅力を伝えていければと思います。</p> <p>スマホアプリなどで手軽にアクセスできるサービスを提供して頂ければと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、新たなモビリティサービスの導入などに努めてまいります。</p>
76	<p>P29</p> <p>「ICT・ビッグデータ を活用した多様な交通情報の収集と提供」の記述あります。</p> <p>日常の多彩な交通状況の収集・関係部署(市町)への提供はもちろんのこと、既に県内ではインフラ整備による大規模交通規制(跨線橋工事・数十年通行止)が始まっております。</p> <p>工事主体(おそらく市町自治体)と協力して具体的工事についてのビッグデータの収集・活用・広報実施を速やかに実施し、今後件数増加するであろう整備工事に活用されますよう宜しくお願い致します。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、ICT・ビッグデータ を活用した多様な交通情報の収集と提供などに努めてまいります。</p>
77	<p>広域的な道路交通の基本方針においては、広域道路ネットワークの基本方針、交通・防災拠点の基本方針、ICT交通マネジメントの基本方針がわかり易いと思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、道路交通行政の推進に努めてまいります。</p>

【山口県新広域道路交通計画(素案)「1 広域道路ネットワーク計画」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
78	<p>「広域交通ネットワーク計画」の基本戦略(p2)につきましてつぎのような戦略もあればよいかと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流移動の速達性・定時性の強化 ・広域交通を担う高規格道路の機能強化 <p>また、ネットワーク強化を実現するための施策(方向性)に関する記載があると、県民が理解し易いと思います。</p> <p>財政が厳しいなか、ハードと併せて効果的なソフト施策の記載があれば、計画により共感できそうです。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化などに努めてまいります。</p>
79	<p>「これら「両輪」となる観点を踏まえ」との記述ありますものの、当記述前の本文確認するも「両輪」=主要2項目の判断がつきません。表現の変更再考が必要と考えます。</p> <p>上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>「「両輪」となる観点」とは、「現状の交通課題の解消を図る観点」及び「新たな国土形成の観点」を指しています。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>
80	<p>P2「広域道路ネットワーク」ありきの記述となっておりますが、「広域道路ネットワーク」の詳細説明はP3冒頭となっております、記述順序が不適切です。</p> <p>まず「広域道路ネットワーク」とは何なのか明示の上で説明記述すべきと考えます。</p> <p>上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>
81	<p>「(5)国土の更なる有効活用や適正な管理」で、「国土の更なる有効活用や適正な管理」の記述ありますが、県行政として県民主体の道路行政を考えるべき計画(素案)について「国土」「国家行政」を明示する必要性はまったく無い、と考えます。</p> <p>「国土の更なる有効活用・適正な管理を図る。」との記述は、国政優先県政後回し、との姿勢とも取れます。</p> <p>「(5)国土の更なる有効活用や適正な管理」の記述は全文破棄すべきと考えます。</p> <p>上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>

82	<p>P2の上から3～5行目</p> <p>「広域道路ネットワークは、地域、そして我が国の経済活動を支える基盤であるが、各地域の実情に応じて必要となる拠点連絡等の強化を検討する必要がある、その効果を早期に発現させるため、効率的に道路ネットワークを構築する必要がある。」は複数の文が「が」や「あり」で続けており極めて分かりにくい表現になっている。このような文体を連用中止法と言って、便利で良く使われるが、前後の関係が並列なのか、原因と結果なのか、目的と手段なのか、あるいは順序なのか、どうにでも解釈できあいまいになる欠点を有している。</p> <p>従って、論理的な文章を作成する際には避けた方がよい表現方法と言われている。そこで、下記のような表現の方が良いのでは？</p> <p>「広域道路ネットワークは、地域、そして我が国の経済活動を支える基盤であり、各地域の実情に応じて必要となる拠点連絡等の強化を検討する必要がある。また、その効果を早期に発現させるため、効率的に道路ネットワークを構築する必要がある。」</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
83	<p>P2の上から12行目</p> <p>「ブロック都市圏」とは何か分からない。後述のP4に定義されているが、最初に出たところで定義すべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。</p>
84	<p>P2の上から13行目</p> <p>上記と同様に、「中枢中核都市」「連携中枢都市圏」「定住自立圏」も何か分からない。後述のP6を見れば分かるが、最初に出たところで定義すべき。定義する代わりに山口県で該当する都市を()で示しても良いかも？</p> <p>「・・・中枢中核都市(山口市、下関市、宇部市)や連携中枢都市圏(下関市、山口市・宇部市)、定住自立圏(下関市、山口市、萩市、長門市)等の経済・生活圏を相互に連絡し、・・・」</p>	<p>ご意見を踏まえ、用語解説に追記しました。</p>
85	<p>P3の上から2行目</p> <p>「<u>主要都市間、及び主要都市と地域の中心都市間</u>を往来する広域的な都市間交通や・・・」の主要都市間と主要都市と地域の中心都市間の違いが分からない。主要都市間のみで良いのでは？</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
86	<p>P3の上から14行目</p> <p>「<u>地域の実情や将来像(概ね20～30年後)に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く・・・</u>」</p> <p>とあるが施策との関連性があるのは、重要性・緊急性ではなく事業であるので、重要性・緊急性を削除するか、残すなら重要性・緊急性の高い事業とすべき。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>

87	<p>P4の上から12行目 「※3：三大都市圏や中枢中核都市、連携中枢都市」となっているが、おそらく本省の実施要領の文を転記したものと思うが、山口県の場合は三大都市に隣接しておらず該当しないので削除しておいた方が良いのでは？</p>	<p>ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。</p>
88	<p>P3-P6 「広域道路ネットワーク」における対象道路、拠点の設定と認識しております。 道路行政は各市町村行政に直結するものですので、行政間協議調整を宜しく御願ひ致します。 「拠点設定」は、「現状に沿っての設定」しかなく、「今後を見据えての設定」が見当たらないと感じます。 <例：あくまで例> 「広域交通の拠点となる都市」の「地方生活圏中心都市」 …「大都市地域及び沖縄県を除く全国において、都市と周辺の農山漁村が一体になるよう設定した生活圏域(地方生活圏、二次生活圏)の中心となる都市」 …「昭和43年に建設省が「地域開発の主要課題」において提唱し、昭和44年度以降に圏域を設定」 →半世紀以上前の提唱・設定に従うのではなく、県独自の判断で対象都市地域を設定した上で計画(素案)を作成すべきと考えます。 県内各市町村に「広域交通の拠点となる都市」「重要な空港・港湾等」について意見を求めるべきと考えます。 上記2件考慮の上計画(素案)再度御検討再作成実施、再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。 また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>
89	<p>ビジョンに基づき、高速自動車国道や、これを補完する広域的な道路ネットワークを中心と下必要な路線の強化や絞り込み等を行いながら、平常時・災害時の物流・人流の観点を踏まえた具体のネットワーク計画を策定することと、ぜひ実施していただきたいと思ひます。 ICT等の革新的な技術も積極的に活用したいとのことであり、安全かつ将来に渡り持続できる道路であって欲しいと願っています。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化や災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築はもとより、ICT等の革新的な技術を活用した交通マネジメントの強化など、道路交通行政の推進に努めてまいります。</p>

【山口県新広域道路交通計画(素案)「2 交通・防災拠点計画」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
90	<p>P7-P9 「2 交通・防災拠点計画」の記述と認識しております。 「広域活動拠点」について、当計画(素案)に具体的拠点を列記すべきと考えます。 上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>8ページにおいて、広域活動拠点として活用が見込まれる道の駅を記述しています。 また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>

91	P8の上から8行目 「広域活動拠点」という言葉が定義なしで使われており、分かりにくい。 P7の「広域輸送拠点」は文字を見て理解できるが、広域活動拠点だと何の活動か分からない。定義するか、広域防災活動拠点とすべきでは？	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
92	P8の上から13行目 「道の駅は、道路利用者のための「休憩施設」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、・・・」とあるが、道路利用者に対して、地域の方々と後者が丁寧語になっており違和感がある。表現のレベルを合わせて地域住民でよいのでは？	ご意見を踏まえ、本文中の表現を修正しました。
93	現在、移動手段が自動車主体である者としましては、拠点同士の結びつきも含めて、便利さを考えますと、道路整備の更なる推進を図ることが重要であると思います。 また、高齢化の進行という面からは、公共機関の充実とモーダルコネクトの強化を進めていただくことに賛同いたします。 今はコロナウイルスの感染防止のために外出を自粛している状況ではありますが、今後も考えますと、県内に限らず、行きたい所に手軽に行ける交通網の実現を希望いたします。	いただいたご意見を参考に、産業力の強化や交流の拡大に資する幹線道路ネットワークの強化はもとより、交通拠点の機能強化などに努めてまいります。
94	防災については、個々の自然災害・企業施設災害について防災計画等が作成されているはずですし、その中に交通/避難についても明示されているはずです。 「新広域道路交通計画（素案）」と言うのであれば、県内各防災計画についての避難計画について列記すべきと考えます。 上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。 また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。
95	県行政は、避難計画作成が必要な1企業の1事業所/施設について、「避難計画等は施設完成後に作成」としている、と聞いております。施設完成後避難計画検討後「適切な避難計画作成は困難」となった場合、県はどう責任を取るおつもりでしょうか。 「防災」について記述ある当計画（素案）に上記内容明示必要と考えます。 上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。 また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。
96	交通・防災拠点計画においては、広域輸送拠点場所が一覧表にまとめられておりわかり易いと思います。	いただいたご意見は、今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【山口県新広域道路交通計画(素案)「3 ICT交通マネジメント計画」に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
97	山口市内の国道9号の朝夕の渋滞がひどい。 先月、新聞報道にて、国が交通需要マネジメントの導入を検討する考えを示したとの記事を拝見した。新技術のみではなく、こういった取り組みも記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、「ICTを活用した交通マネジメントの強化」の中で、交通需要マネジメントの取組について追記しました。

98	<p>「山口県新広域道路交通計画（素案）」道路施設のメンテナンスの高度化について山口県の道路施設は、建設後数十年が経過しているものが多く、老朽化や利用者への被害が懸念されています。</p> <p>このため、予防保全型の維持管理が鋭意進められているものの、点検や補修、更新にかかるコストは膨大であるため、より効率的で効果的な維持管理手法を積極的に採用していく必要があると考えます。</p> <p>国土交通省では、道路橋や道路トンネルなどの構造物点検・調査において新技術である「点検支援技術」を積極的に採用する動きが活発化しています。「点検支援技術」を活用した点検・調査は、高精度かつ効率的である一方、現時点では大幅なコスト縮減にまでは至っていない状況にあります。山口県においては、全国の自治体に先駆け、「点検支援技術」の活用について、業務での標準化を推進していただきたいと考えます。</p> <p>「点検支援技術」のような新技術は、市場に十分な需要が生まれなければコストダウンが難しく普及への障壁となる懸念もあるので、山口県で率先して新技術を普及して頂ける事を期待します。</p>	<p>いただいた意見を参考に、ICT・AIを活用した道路施設のメンテナンスの高度化などに努めてまいります。</p>
----	---	---

【パブリック・コメントの実施方法等に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
99	<p>当件、用語解説含め30頁強の内容ですが、本来意見提示するには文中の他計画法令等も確認すべきと考えます。</p> <p>又、同時期に県のパブリックコメント/意見募集案件複数見受けられます。</p> <p>さらに、前述しておりますが記述に不備不足見受けられます。</p> <p>この様な内容で県民からの意見募集を1回1ヶ月で済ませるのは期間不足記述不備で不適切と感じます。</p> <p>期間延長又は意見反映しての「素案」再提示際意見募集が必要と考えます。</p> <p>県行政では、1企業の申請に対して、内規に定める期間を超過して「資料不足」を理由に「資料再提出」を指示し、数年単位の長期検討を実施した例がある、と記憶しております。</p> <p>「県民＝主権者」からの「期間不足記述不足による意見募集の期間延長/再実施」の要請を断るのであれば、その具体的理由を明示願います。</p> <p>（「県の条例に則って(1ヶ月)実施している」と言うのは、上記の通り内規に定める期間を大幅に超過して対応している事例がありますので返答に値しないと考えます。）</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しています。</p> <p>意見募集の期間については、各々の計画等策定過程の中で決定しており、期間延長等は予定していません。</p>
100	<p>パブリック・コメント/県民意見募集の期間が1か月なのに対して、県広報紙発行が2-3か月間隔と言うのは、県の広報手段として不適切な発行期間と感じます。</p> <p>県広報紙発行頻度の見直しを実施願います。</p>	<p>県広報紙は年4回の発行となっており、原稿を入稿する時期との兼ね合いから、主に速報性のある県ホームページや新聞広告等を活用した広報に努めています。</p> <p>限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>

101	<p>パブリックコメント/県民意見募集の案については、年月表記を西暦表記又は元号西暦併記に統一する様県行政対応を御願ひ致します。</p> <p>前述意見パブリックコメント/意見募集の際は常に意見連絡実施しております。 今回当計画(素案)で「一部元号のみ表記」としている理由を明示願ひます。</p>	<p>いただいたご意見については、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>
102	<p>パブリックコメント/県民意見募集の案については、図表記に通し番号を付ける事を必須とする様県行政対応を御願ひ致します。</p>	
103	<p>前述『「用語解説実施語句を本文中で明確にし、その旨目次に明記」対応実施の上での用語解説』掲載を、意見募集/パブリックコメント資料として必須とする様願ひします。</p>	
104	<p>今回の案件を含め、県広報誌や「山口県からのお知らせ」に個々のパブリック・コメント/県民意見募集についてや、パブリック・コメント/県民意見募集全般に関する記事が殆どまたは一部しか掲載されていない理由を明示願ひます。 (パブリック・コメントの広告を小さく掲載するよりも、紙面を広く取る「山口県からのお知らせ」の項目の1つとする方が明らかに県民の目に留まると思われます。 「個別の(小さい)広告を新聞に掲載した」と言うのは、「県民により広報の効果のあるだろう所に記事を掲載していない理由」にならないと考えます。 県広報では「意見募集実施：実施案件等については県ホームページを御確認願ひます」の一文掲載でもすべきでは、と感じます。)</p> <p>前述各意見に対する御返答と、意見送付県民数・意見数より、今回の当該パブリック・コメント/県民意見募集についての広報が十分になされたかどうか、御判断御明示願ひます。 「意見募集の結果(人数・件数)の明示」ではなく、「広報が十分/適切だったかどうか」(十分・不十分)を御明示願ひます。</p> <p>今回の意見募集は、新聞広告「山口県からのお知らせ(山口県広報)」(新聞下4-5段広告)には掲載無かった(別途単独で小さい新聞広告があった)と認識しておりました。 新聞掲載「山口県広報」に当件不記載の理由を明示願ひます。</p> <p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際の程度あったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断する為にも、「県のホームページ＝県行政に関心又は用事の在る県民が参照する媒体」では無く、一般県民が広く目にする新聞にどう広告掲載した/記事掲載されたのか、『具体的(媒体、掲載日、大きさ)』に提示願ひます (記事の場合は把握している範囲内で御願ひ致します)。</p>	<p>パブリック・コメントの実施については、記者配布を行い、県ホームページに掲載するとともに、新聞広告(3月30日の山口新聞/3月31日の中国新聞/3月30日の宇部日報「山口県広報」)により広報・周知に努めました。 限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>

105	<p>資料未確認ですが、当件の内容は地域性専門性の高いものとなっていると考えます。</p> <p>県民からの意見募集の他に、住民・関係者・専門家・各自治体からの直接の意見聞き取り等の実施を御願い致します。</p> <p>(案作成時に実施済とは思いますが一応。)</p>	<p>ビジョン及び計画の策定にあたっては、道路管理者（県、国、西日本高速道路株式会社）で構成する「山口県幹線道路協議会」や有識者に意見を伺うとともに、県内全市町に対して意見を照会したうえで、いただいたご意見を最終案に反映させています。</p>
-----	--	---

【その他】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
106	<p>現在及び将来に亘る山口県の課題や問題点を十分に認識されたうえでの、先見性のある計画であると思います。</p> <p>このような核となる計画について、国や市町・民間とも連携しつつ、山口県及び地域の発展のため、適確かつ速やかに実行に移されることを望みます。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、道路交通行政の推進に努めてまいります。</p>
107	<p>山口県の道路整備の取組みにおいては、みちづくりの方針がわかり易くまとめられています。</p>	
108	<p>用語の定義や各道路の考え方が説明されており、一般の方にも理解し易いと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の資料作成の参考とさせていただきます。</p>
109	<p>当該計画は隣接自治体（陸続き県市町村、航路での往来先県市町村あるいは国家）との調整協議必要と思いますがその旨の記述にかけていると感じます。</p> <p>上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>本計画は、国及び隣接県等と調整を図ったものとしています。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>
110	<p>広域道路ネットワークについて、図は分かりやすくていいのですが、別途路線の一覧表があったほうがより分かりやすいのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画の巻末資料に広域道路ネットワーク路線一覧表を追加しました。</p>
111	<p>広域道路ネットワーク図を拝見しましたが、山陰道について、今年度新規事業化された益田・田万川道路及び大井・萩道路が反映されていないようなので、修正が必要と思われます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、広域道路ネットワーク図を修正しました。</p>
112	<p><全般></p> <p>当該計画は国の施策の影響を強く受けるものと感じますが、「国に対して意見する」という点の記述が欠けていると感じます。</p> <p>「県行政として、或いは県行政の参加する組織（例〈あくまで例〉：知事会）を通じて、場合によっては県民・県内団体からの意見聞き取り意見募集実施の上国施策に適宜意見する」、と言った内容を追加すべきと考えます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
113	<p>全体確認しますに、県行政の他各種行政計画との関連性が不明確です。</p> <p>関係性（上位計画、下位計画等）の図示記載を御願い致します。</p> <p>上記内容御検討の上での記述御変更実施の計画で再度意見募集実施するのが適切/当然と考えます。</p>	<p>本ビジョン及び計画は、県の関連計画と整合を図りつつ策定しており、関係性については、ビジョンP2に記載しています。</p> <p>また、本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しており、再意見募集は予定しておりません。</p>

114	<p>文中年月表記が一部元号のみ表記となっており、年代把握がしにくくなっております。 年月表記は西暦表記又は元号西暦併記に統一を御願ひ致します。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
115	<p>各数値・グラフ表記・図示について、出典が明示されているのは適切と感じます。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の資料作成の参考とさせていただきます。</p>
116	<p>各ページの図表記には、通し番号添付を御願ひ致します。 また、一部図表が小さく見難いと感じます細かい図示資料（県地図表記資料）は、 ・別途資料・1頁1図表掲載、 ・資料内1頁記載等を御検討宜しく御願ひ致します。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。</p>
117	<p>道路交通計画・道路交通ビジョンの概要を見ていると、道路を整備すれば生活や産業が良い方向に行き、地方が活性化し明るい未来があるように取り組まれているが、県内の過疎の地区ではそれだけではなく、各個別に問題や課題がありそれらを優先的に鑑みて複合的に取り組むことが必要ではないでしょうか？ 中心部の求心力の向上よりも地域の拠点性の向上に対する意向が高くなっており、地域における生活機能の集積が求められます。また時代の潮流や市民のニーズ等も踏まえた創意工夫のある道路づくりが求められていると思う。 「活力みなぎる山口県」の実現を掲げて取り組む中で、県内でも各市町で課題が違います。道路整備よりも、その他を優先するなど、地方個々の問題は多岐にわたると思います。 道路整備を行い、「人や物の流れを飛躍的に拡大し活性化する大交流の実現・・・」においても、山口県は単に広島や関西、九州への通過箇所過ぎない感も否めない。高卒・大卒などの新規就労者は県外に出て行き、地元は衰退し少子高齢化や耕作放棄地や空き家問題などの問題が山積みのような気がして、この度のビジョンのように行かない気がする。計画は立てる事より実現するためのものなので、絵にかいた餅にならないよう、少ない税金(予算)を活かして最大限の効果が出るようにして頂きたいと思い投稿致しました。今後も、より良い山口県になるように、ご尽力下さい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、選択と集中の視点に立ち、重点的・計画的な道路整備に努めてまいります。</p>
118	<p>目次内【巻末資料】として「用語解説」掲載があり、本文中「右上※」の語句が用語解説に掲載されている様ですが、その旨目次に説明なければ「用語解説」掲載の意味が薄れる、と感じます。 目次に「本文中右肩※語句は巻末資料「用語解説」に説明記載」と言った内容明示願ひます。 又、文中「右上※X(Xは数字)」の記述ある語句は直下/同頁内に説明があり区別がし難いと感じます。 「用語解説」語句は下線等で表記を別にし、目次に「本文中下線語句は巻末資料「用語解説」に説明記載」と言った内容明示願ひます。 「用語解説」実施語句と説明内容の再精査を宜しくお願ひいたします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、目次に「※」印の説明を追記するとともに、用語解説を修正しました。</p>